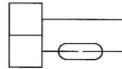


部 品 表		
符号	部 品	数
1	キャップ	1
2	Oリング	1
3	ターミナル台	1
4	ターミナルボックス	1
5	リードスイッチ	1
6	ガスケット	1
7	リテーナー	1
8	Oリング	1
9	マグネット	1
10	アジャストボルト	1
11	ヨークカバー	1
12	シャフト	1
13	パイロボディ	1
14	フラッパー	1
15	ベアリング	1

定格および配線図:

- スイッチ型式: MR 138
- 最大開閉電圧: AC/DC 200V
- 最大接点容量: 10VA/W (抵抗負荷)
- 保護用推奨リレー: 立石電機-MY, LY型、富士電機-HH62型、松下電工-HC型 ※バリスターを入れると一層効果的です。

配線図 WIRING DIAGRAM



特徴:

- 船舶P.C.O.用ノンフロースイッチ(フラッパー型)
- BV/LR 船級対応品も製作可能です。

ご使用上の注意:



- 流体、温度など取決められた仕様範囲内でご使用ください。
- スケール、ゴミ、ホコリが機器内に入らないよう、取扱・置き場にご注意下さい。

配管・取付け時の注意:



- 取付けの際は配管方向、流れ方向をよく確認しご使用下さい。
- 配管規格、サイズが異なったものを無理に接続しないで下さい。
- 配管ストレスが製品に直接かからないようご注意ください。
- 点検、修理の時のスペースを十分に考慮して配管して下さい。
- フラッパーが流れに正しくあたるように、本器の漏斗状の受け皿を上向きにし、電線の引き出し口を下に向けて取付けて下さい。
- 主機のフランジに完全に密着するように取付けてください。傾いて取付けますと、初期または機器の性能が発揮されませんのでご注意ください。

電源接続時の注意:



- 通電したままで配線しないでください。
- 接点容量以上の負荷を接続しないで下さい。

動作流量の変更調整:



- 動作流量を変更する必要がある時は、まず電源を落とし、①キャップを外したあと、③ターミナルを外します。
 - 動作流量を増やしたい時は、⑤リードスイッチをターミナル側から見て反時計回りに中央のビスを調節します。
 - 動作流量を減らしたい時は、⑤リードスイッチを時計回りに緩めて調節します。
- ※ 過度に調節しますと接点動作が逆転したりすることもありますので、少しずつ行って下さい。
- ※ 本製品を主機より外し、フラッパーを手動で操作して接点動作が正常であることをテスターで確認できましたら、もと通りに正しく取付けてください。

清掃・点検上の注意:



- 動作しない時や定期点検時には本器を主機より外し、フラッパー部回りを点検し、異物等の詰りがある時はよく掃除をして下さい。